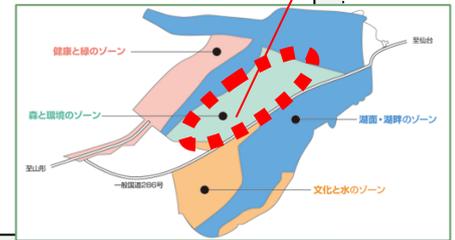


みちのく森の楽校だより 第2回

みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



5月31日(土) 晴れ 「小野分校」に立ち寄りました！

森の楽校の第2回は、快晴でとても暑い日でした。里山地区はもうすぐ開園。長らく親しんできた無料休憩所「あだこだ」での朝礼も最後です。朝礼のあと、地下道を通して地域交流館「小野分校」に立ち寄りしました。次回からはここが拠点施設になります。

タケノコ掘り

今日のお昼は「春を味わう」の第2弾。タケノコご飯とうるいの味噌汁、デザートはヨモギ団子です。

森の楽校に行く途中の竹林で、タケノコ掘りをしました。大きく育ってしまったタケノコの中に、小さな食べごろのものもありました！根元に深くスコップを入れて、掘り取りました。

ヨモギはすっかり大きくなっているので、葉っぱの先の部分だけ摘み取りました。



調理

掘りたてのタケノコはアク抜きの必要はありません！そのまま切って煮て、煮汁を使って飯盒炊飯をしてから、ご飯とタケノコを混ぜ合わせました。飯盒炊飯も慣れたもの！

タケノコの皮で梅干を巻いて吸ったことはありますか？昔は誰でもやっていたオヤツです。これもやってみました。

ヨモギ団子は、ヨモギを細かく切ります。団子は、米粉を水でよく練り、薄く丸めて熱湯に入れて茹で、茹で上がった団子をすり鉢に入れ、ヨモギと一緒に潰しました。これを丸めて出来上がり！あんこをかけて食べました。米粉と小豆は自然共生園産、里地と里山の連携です！



園路名称サインづくり：文字彫り

午後は、前回に引き続いて、園路名称サインづくりをしました。

名称がついている園路は8種類。1箇所につき、複数のサインを取り付けるので、何本も必要なのです。

材料は、スギの間伐材を半割りにしたもの。

園路名称の文字は、鉛筆で下書きをしたら、ルーターで彫ります。思い思いの文字が個性的！

彫ったら、グラインダーをかけて滑らかにします。



こんなに素敵にできています。

建て込みが楽しみです。



園路名称サインづくり：防腐剤塗り

文字彫りができたら、表面に防腐剤をしっかりと塗りました。細かい所は念入りに！

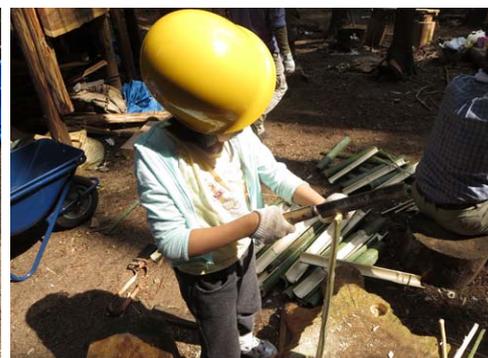
裡面には支柱を取り付けるホゾを切って、そこにもしっかりと防腐剤を塗ります。支柱にする材にも防腐剤をしっかりと塗りました。



竹割り

開園イベントで里山ボランティアは味噌タンポの振る舞いをします。それに使う竹串を作るため、竹割をしました。

竹割には両刃のナタが使いやすいのです。「竹を割ったような」と言いますが、刃を入れると、真っ直ぐに割れます。



焼印押し

開園式典の記念品もみんなの手作りです。仕上げに焼印を押しています。



小野分校で終礼

活動の後の終礼は小野分校で行いました。黒板や家具は、川崎町の閉校した学校からいただいたもの。大切に使います。



第3回は6月28日(土)、今回の活動の園路名称サインの建て込みをします。

第4回は、7月26日(土)です。暑い盛りです。

6月8日(日)は開園式、みんなで開園をお祝いしましょう！開園記念イベントを開催します。